

女性の再チャレンジ支援策について

女性の意欲と能力が十分に活用できていない現状

一人ひとりのニーズや段階に応じた再チャレンジ支援を関係府省等の連携のもとに展開

子育て等のために離職した者が再チャレンジの希望をもてる社会の実現

女性労働力率：
30歳代前半で低下するM字カーブ
女性就業希望者数（25～54歳）が約264万人
高学歴の女性ほど再就業が進まない

主な課題

働きたいが希望する仕事につけない
企業の求める雇用ニーズと求職者の職業能力との間にミスマッチが生じている。
子育てと両立可能な就業環境を探すのが困難
いずれ働くための準備をしたいが何から始めればよいのか分からない
子育て中のスキルアップや情報収集が困難等

検討課題

1. 国における総合的な情報提供・広報

再チャレンジ(就業・起業等)に関する総合的な支援体制の構築について検討する。
また、子育て中の女性が、再チャレンジをめぐる状況につき正しく認識し、より積極的・計画的にチャレンジすることのできるような情報提供・広報について検討する。

2. 地域におけるネットワークの構築等による再チャレンジ支援

地域における再チャレンジ支援の仕組みについて検討する。地域のワンストップ窓口の設置、再チャレンジ関連機関のネットワーク化、支援におけるNPOの活用、人材育成等の課題を中心に検討する。

3. 学習・能力開発支援

再チャレンジを希望する女性に対する就業につながる学習・能力開発の機会の充実について検討する。特に在宅でも可能な機会の提供につき検討する。

4. 再就職支援

女性の再就職等に関する支援策の充実について検討する。

5. 起業支援

女性を含めた起業支援策の充実について検討する。

離職前のキャリアや離職中に磨いたスキルを生かした再就職の実現！

女性の意欲と能力の発揮により、企業や社会が活性化！

女性起業家による新規ビジネスの開拓！

地域におけるNPO等での再チャレンジが地域社会を活性化！

